

講義要項

科目	理学療法研究法	担当講師	宮原 拓也・松崎 智幸・高島 恵
対象学年	第3学年	時期・単位数・時間数	通期・講義2単位・60時間
概要	理学療法士として研究の必要性和意義を知り、臨床におけるエビデンスの追求のための文献の読み方を学ぶ。また、研究計画書作成について学びエビデンス構築の基礎を身につける。		
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 理学療法士が研究活動を行う必要性や意義が説明できる。 2. クリニカルクエスチョンを持ち、リサーチクエスチョンを作成できる 3. 文献検索ができる 4. 1つの文献を要約できる 5. 複数の文献のレビューができる 6. 研究計画を立てることができる 7. プレゼンテーションができる 		
教科書	理学療法研究法第3版		
参考書	PT・OTのための臨床研究ははじめの一步 羊土社 最新理学療法学講座 理学療法研究法 医歯薬出版 その他、各種文献		
学習評価	治療に関するレビューと研究計画書のパワーポイントを作成し、発表を行う。 「治療に関するレビュー」の発表50%、「研究計画書」の発表50%の合計を100%とし、60%以上を合格とする。 なお、課題の提出期日に遅れた場合、その課題は0点とする。 また、出席と授業態度を加味する。		
備考	発表内容は必ず事前に担当教員と相談の上、作成すること。(個人情報管理および倫理的配慮の確認を必須とする) 実施時期は、臨床実習Ⅲの前に1～8コマ、臨床実習Ⅲの後に9～20コマ、臨床実習Ⅳの後に21～32コマとする。		

講義内容:

回数	内容	学習法
1	オリエンテーション・研究法の基礎知識(研究法を知る必要性・EBMとは・文献の種類・論文の構成とその内容)	講義
2	研究法の基礎知識(研究の種類・研究デザイン)	講義
3	研究法の基礎知識(信頼性と妥当性・研究バイアス・エビデンスレベル)	講義
4	研究計画を立てる(クリニカルクエスチョン・リサーチクエスチョン・問題の定式化)	講義
5	研究計画を立てる(文献検索・文献の要約)	講義
6	研究計画を立てる(倫理的配慮・研究計画書の作成方法・FINER)	講義
7	研究計画を立てる(倫理的配慮・研究計画書の作成方法・FINER)	講義
8	プレゼンテーションの仕方(治療に関するレビュー・研究計画書)	講義
9	治療に関するレビュー(クリニカルクエスチョン抽出とリサーチクエスチョンの定式化)	講義
10	治療に関するレビュー(キーとなる治療に関する文献検索)	講義
11	治療に関するレビュー(キーとなる治療に関する文献検索)	講義
12	治療に関するレビュー(収集した文献をPICOまたはPECOでの要約)	講義
13	治療に関するレビュー(収集した文献をPICOまたはPECOでの要約)	講義
14	治療に関するレビュー(収集した文献をPICOまたはPECOでの要約)	講義
15	治療に関するレビュー(収集した文献をPICOまたはPECOでの要約)	講義
16	治療に関するレビュー(まとめと臨床応用作成)	講義
17	治療に関するレビュー(発表練習)	講義
18	発表会場準備	講義
19	治療に関するレビューの発表	講義
20	治療に関するレビューの発表	講義
21	研究計画書の作成(クリニカルクエスチョン抽出とリサーチクエスチョンの定式化)	講義
22	研究計画書の作成(背景・研究目的作成)	講義
23	研究計画書の作成(背景・研究目的作成)	講義
24	研究計画書の作成(背景・研究目的作成)	講義
25	研究計画書の作成(方法検討)	講義
26	研究計画書の作成(方法検討)	講義
27	研究計画書の作成(方法検討)	講義
28	研究計画書の作成(方法検討)	講義
29	研究計画書の作成(研究計画のFINERでのチェックと修正・発表練習)	講義
30	発表会場準備	講義
31	研究計画書の発表	講義
32	研究計画書の発表	講義

講義要項

科目	理学療法教育論	担当講師	高島 恵・加藤 研太郎 他
対象学年	第3学年	時期・単位数・時間数	通期・講義1単位・30時間
概要	この科目では、教育原理、教育心理、教育方法、教育評価の基本的内容について学ぶ。		
目標	<p>将来、理学療法士として後進の育成を行うことを見据え、「よい教育(者)とは？」を考えることができる基盤を身につける。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な教育の原則が説明できる 2. 学習者についての基本的内容(発達、成人学習、学習方略、動機づけ 等)が説明できる 3. 教育内容についての基本的内容(目標設定、教える内容、教える順番、教育方略、教育評価、教育環境 等)が説明できる 4. 教育者についての基本的内容(役割、求められる要素、教え方 等)が説明できる 		
教科書	配布資料		
参考書	医学教育マニュアル1～5巻 篠原出版社 他適宜使用		
学習評価	筆記試験を100%とし、60%以上で合格とする。 ただし、平常の学習態度及び出席状況等を考慮し総合的に評価する。		
備考			

講義内容：

回数	内容	学習法
1	オリエンテーション なぜ教育学が必要か？(理学療法士協会と生涯学習制度)	講義
2	教育の原則(教授と学習、学習を促進する要素・阻害する要素)	講義
3	学習の効果(スキーマ、メタ認知など)	講義
4	学習者について (成人学習(アンドラゴジー)、学習スタイル、動機付け)	講義
5	教育内容について ①(目標設定)	講義
6	教育内容について ②(教え方)	講義
7	教育内容について ③(教育評価、教育環境)	講義
8	教育者について (役割、求められる要素)	講義
9	指導演習	講義
10	臨床実習について ①(現状と課題) カリキュラムの変遷	講義
11	臨床実習について ②(実習手法)	講義
12	臨床教育のロールモデルによる講義	講義
13	発達障害と対応・支援	講義
14	これから働く上で必要になる知識(診療報酬などを含めた、収益と経済学的視点)	講義
15	まとめ	講義